

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育所の二つの理念『常に子ども達にとってのよりよい環境づくりを目指し、子ども達一人一人の大切な命を守る。』『養護と教育の一体となった保育をすすめ、豊かな人間性をもった子どもを育成する。』が明文化され、理念を踏まえ、三つの具体的な基本方針『子どもの健やかな育ちの支援』『就労と育児の両立支援』『地域の子育て支援』が明文化されており、子どもだけでなく、保護者支援や地域の子育て支援も含め、当園の目指す方向性や考え方が読み取れる。</p> <p>また、基本方針に基づいて、より具体化した保育目標『子ども一人一人が現在をもっとも良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。』を明文化している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員周知については、理念・基本方針・保育目標を資料として文書化し、職員に配布している。毎朝の出勤時には、理念や基本方針を全職員が読み上げ、業務を開始している。また、職員会議等の機会を捉えて説明する等して、園の理念や方向性を明確にし、職員のチームとしての意識を高めている。新採職員には、新採職員研修の中で丁寧に説明し、周知を図っている。</p> <p>利用者周知については、「入園のしおり」に保育方針等を記載して、保護者に説明したり、入園の説明会や入園式、保育参観等の機会を捉えて説明している。また、園内掲示、パンフレットへの記載、ホームページでの発信、保護者会総会や行事の際での説明等を通して保護者への周知を図っている。また、園だよりを地域住民や関係機関に配布し、広く周知に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>中・長期計画については、中・長期ビジョン、経営の基本方針や基本姿勢を明確にし、5年後の中・長期ニーズ動向を予測し、5年をスパンとした経営、保育・保育サービスに係る中・長期計画を策定している。計画は、ニーズ変遷を踏まえ、今後のニーズ（たとえば、0～1歳児の入園、長時間、延長保育利用ニーズの増加等）予測に対応すべく策定されたものである。</p> <p>事業計画の策定は、中・長期計画に基づき、今年度の事業経営の基本方針や基本姿勢を明確にし、経営状況を分析して保育・児童福祉制度動向や変化する地域のニーズを把握し、職員参画のもと、経営全体に渡る事業計画が策定されている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>計画は、前年度の反省のもとに各種委員会での役割担当者が中心となって、職員会議で検討され、策定されている。日常活動については、業務内容別に各種の委員会活動を設置し、委員会をリーダーとして園全体で取り組んでいる。</p> <p>計画の職員周知については、事業計画を職員会議で配布し、説明して周知を図っている。</p> <p>保護者には、計画について資料を配布し、説明を行っている。また毎月の活動については園だよりで周知を促している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は、自らの役割と責任を七郷保育園運営規程において明確にしており、またマニュアルの中で、有事の際の自らの役割と責任も明示、研修等を通じて職員への周知を図っている。</p> <p>また、遵守法令に関する各種研修会に積極的に参加し、職員会議や研修会等で説明し、職員のコンプライアンス意識の向上に努めている。法令リストはその根拠とともにマニュアルに明示し、司法書士・税理士・社会保険労務士といった法律や会計・労務管理の専門家による指導を受け、法令改正時のマニュアルの見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
	<p>I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
	<p>I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は保育の質の向上に意欲を持ち、園内での研修や会議等を通じて、園の組織づくりや保育の質の向上に向けた取り組みに指導力を発揮している。また、職員との面接を通して職員個々の保育の振り返りや園全体の質の向上に向けた取り組みを行っている。</p> <p>業務のICT化を推進し、効率化に努めるとともに経費節約等、コスト管理に向けた取り組みに指導力を発揮している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>		<p>第三者評価結果</p>
	<p>Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
	<p>Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
	<p>Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。</p>	<p>A・Ⓑ・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業全体動向については、法人本部からの情報提供、各種研修等の受講、各種専門誌から情報収集等で把握し、職員周知に努めている。また、地域の特徴や変化については、市の人口動態データ、地域団体との連携、園庭開放や子育て支援活動等からニーズの把握に努めている。</p>		

<p>把握したニーズについては職員会議で課題分析を行い、次の計画につなげていくよう取り組んでいる。園の経営管理については、会計事務所の指導の下、経営状況を分析し、職場の5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）を徹底し、事務の効率化や消耗品や光熱水費等の節約の工夫をする等コスト意識を高めた取り組みをしている。</p>
<p>改善できる点/改善方法： 会計事務所や社労士事務所等と契約をし、経営指導を受けている。公認会計士の監査が必要になる規模の法人ではないが、現在、検討中とのことであるので、今後、必要に応じて実施を検討されたい。</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点： 中・長期計画に「人事管理」「人材の確保と育成」についての方針が明記されている。目標とする保育の質を確保するための、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランについては、社労士の指導のもと、キャリアパスに重点を置いたプランを作成している。職員の教育研修に力を入れており、園内研修、外部研修、法人内保育園との合同研修等を行い、人事考課基準が整備され、客観的な基準に基づいて評価がなされている。職員の目標管理、自己評価と連動した人事考課が実施されている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点： 職員の就業状況や有給休暇の取得状況について定期的にチェックしている。特に年休取得100%に取り組み、職員側に立ち、フェアで公正な職場環境にして、職員の満足度を同じにすることに努めている。 職員の健康維持については、メンタルヘルスチェックや健康診断(人間ドック)を実施し、早期発見・早期治療に効果を上げている。職員の悩み等については、理事長・副理事長・園長・主任が随時個別の面談等を通し、把握し、対処している。また、2名の看護師が配置され、職員の健康面の相談に対応している。職員の福利厚生については、岐阜県民間社会福祉事業従事者共済会に加入し、親睦会への補助等、福利厚生の充実に取り組んでいる。</p>		
改善できる点/改善方法：		

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・B・C
	II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・B・C
	II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>事業計画の職員育成と研修計画の項目の中で「子どもの保育及び保護者の保育に関する指導が適切に行われるように、自己評価に基づく課題等を踏まえ、保育所内外の研修等を通じて、必要な知識及び技術の習得、維持及び向上に努める。」という基本姿勢を示している。</p> <p>目標管理の中で、個別に意向を把握し、個別に研修年間計画が策定され、その中で、職種別研修、テーマ別研修、経験年数に応じた研修等、様々な外部研修への参加や、各種の園内研修、公開保育等が実施されている。また、当園では、ピアノの技術指導に力を入れており、毎月、個別に研修指導を行っている。</p> <p>法人全体研修として、毎年、保育園6園で開催する大規模な合同研修会は、全職員が参加できるように日曜に開催し、外部講師からの講義と園の実践報告やグループ演習を行うもので、全園の職員が一堂に会し、顔の見える情報交流ができる機会にもなっている。参加した研修についてレポートの提出や職員会議等での報告を通して職員に周知を行い、次の研修へ反映させている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
	II-2-(4)-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>事業計画に実習生の受け入れの基本方針として「大学、専門学校の保育実習を積極的に受け入れていく。受け入れることで、子どもが様々なことと関わる機会を増やし、また、職員にとっても自らを振り返る機会にもなるので大事にしていく。」と明記され、実習生の受入れについて、実習受入れマニュアルを整備し、実習指導者を決めて、各種養成校から実習生を積極的に受け入れている。受け入れにあたっては、オリエンテーションを実施し、実習時のカンファレンスや実習報告書を分析し、次年度の受け入れに反映させている。また、中・高校生の職場体験学習の受け入れも行っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

II-3 安全管理

II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
-----------------------------------	---------

	Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－３－（１）－② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－３－（１）－③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画に、「各種委員会による危機管理」「保健計画」「危機管理」「衛生管理」「健康管理」が明記され、「事故の未然防止のために」の項目の中で、「安全な保育環境の確保、緊急時における対応体制、保護者や地域住民等、関係機関との連携、子どもへの安全教育」が明記されている。また、「事故への対応」「関係者への通報」「事故状況の記録」についての基本姿勢が明記されている。緊急時の各種対応マニュアル（防犯・不審者対応、安全管理・事故、感染症対策等）を作成し、全職員に職員会議での読み合わせ等を通じて周知徹底している。また、各種訓練や講習（防犯・不審者対応、連れ去り防止教室、交通安全・ＡＥＤ、救急救命講習等）を実施している。</p> <p>災害時における子どもの安全確保について、防災マニュアルを整備し、毎月、防災訓練を実施している。安否確認や緊急連絡は緊急メールにて行っている。</p> <p>ヒヤリハット事例を収集し、職員会議等で分析を行い、全職員に周知し、安全確保のための意識を高めている。ヒヤリハットについては、小さな事例でも、その都度、分析して、再発防止に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（１）－① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画に「子ども達、職員は地域の一員であることを意識理解し、園全体として地域に根付くことを意識していく。」「地域で地域の子を育てていき、地域の子で見ていくことができるように、園の存在を認識してもらうようにしていく。」「園が地域の子育ての拠点となれるようにしていく。」という三つの地域交流の基本姿勢を明示している。</p> <p>地域との関係では、地域のミーティング、市民運動会や盆踊り大会等地域の行事に参加し、公民館で実施される行事に保育士が出向いて就園児親子との交流を図っている。園行事に未就園児親子の参加を呼びかけて交流したり、民生委員、児童委員等との交流を行っている。小中高生の保育体験の受け入れや公民</p>		

館でのお年寄りとの交流会にも参加している。事業所機能の地域還元については、毎週2回、園庭開放を実施し、未就園児親子の遊び場の提供や子育て相談、絵本の貸出等を実施している。子育て家庭の親子教室を開き、出前保育を実施している。一時保育、赤ちゃんステーション等、地域の子育て支援事業を実施している。

ボランティア受け入れマニュアルを整備し、オリエンテーションを実施して、学生の保育ボランティアを中心に受け入れしている。

改善できる点/改善方法：

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

Ⅱ-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・B・C
Ⅱ-4-(2)-② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・B・C

良い点/工夫されている点：

勤務マニュアルに関係機関との連携の目的が明示され、図式化する等連絡方法が記載されている。職員会議やマニュアル研修時に確認し、情報を共有している。関係機関の一覧表が有り、活用できるようにしている。また、お散歩マップ等も作成し、活用している。

小学校、医療機関、子ども相談センター、民生委員、保健センター等関係機関と連携を取り、定期的にケースについて協議している。発達支援の必要な子ども、虐待が疑われる子ども等の早期発見や防止に努めている。

改善できる点/改善方法：

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	第三者評価結果
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・B・C
Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・B・C

良い点/工夫されている点：

関係機関との連携や、園庭開放、地域住民に対する子育て相談に応じ、具体的な子育てのニーズを把握している。把握した地域のニーズに応じて、一時預かり事業、園庭開放、子育て相談、親子教室を積極的に行っている。地域の人の園見学についてはいつでも応じる体制ができています。

改善できる点/改善方法：

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
-----------------------------	---------

	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画の中で、「一人ひとりの子どもたちの人格を尊重しながら、発達を踏まえ、心穏やかに愛情を持って接する。」との基本方針が明記されているように、園長は子どもの人権を尊重する保育に重点を置いており、勤務マニュアルに子どもの人権を守るための留意事項を明記し、職員会議や勉強会で全職員の意識向上に取り組んでいる。園児名簿は男女別ではなく生年月日順にしている。</p> <p>プライバシー保護について、マニュアルに明記し、職員会や勉強会で全職員の意識向上に取り組んでいる。相談時は、個室で行い、各部屋にはカーテンを設置し、必要に応じて周囲から遮断することができるように配慮している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者の保育参加の機会を多く設け、声かけに心がけ、その都度、保護者の満足度を把握し、保護者の意見要望を職員会議で分析し、今後の保育の質の向上に努めている。職員に傾聴の姿勢があり、保護者との信頼関係づくりが適切に行われていると思われる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>意見箱を設置し、匿名で意見を汲み上げている。苦情、相談等、個別に個室で実施できる環境を整備している。意見や要望に対しては迅速に対応し、報告書を作成して職員会議で全職員に周知し、次への改善につなげている。苦情解決の仕組みを掲示する等、保護者に周知を促している。</p> <p>保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、迅速な対応に努めている。</p>		

改善できる点/改善方法：

Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-2-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>サービスの質の向上に向けた取り組みとして、定期的に自己評価を実施し、改善策を各種会議や職員全体会議で検討して見直しを行う等の一連のPDCAサイクルの継続により保育サービスの質の向上を図っている。また、定期的に岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>個々のサービスの標準的な実施方法については、勤務マニュアルに標準的な実施方法が文書化されている。園内研修時に、保育の方法、保育士の関わり、配慮等について話し合いの場を設け、副園長、主任から保育士に指導を行っている。保育の基本をマニュアルに明記し、職員会議や研修会において理解を深めている。個々の保育場面では、クラス会議等での検討やチーフ担任から指導を行っている。</p> <p>毎月全職員が見直しを実施し、保育内容の評価、課題分析を行い、より質の高い保育の実践を検討している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・B・C

Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施の記録については、マニュアルに保育記録や連絡帳の書き方等の基本が明記しており、職員会議や園内研修で周知を図っている。未満児、障がい児については個別記録を作成し、毎月記録している。以上児クラスはクラス毎の指導計画、実践記録、評価・反省が記録されている。</p> <p>記録の管理体制については、個人情報保護に関するマニュアルが整備されており、新人研修で、守秘義務の遵守を徹底して指導している。また、職員会議や園内研修において全職員に周知徹底を図っている。個人記録簿は鍵のかかる書庫に保管する等、厳重に管理している。</p> <p>一人ひとりの子どもの状況について話し合うために、定期的にケース会議を実施し、会議の内容は職員会議において全職員で共有できるようにしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入園のしおり、市のホームページや独自ホームページで分かりやすく園の内容について情報発信している。いつでも園見学の希望者に対応し、入園のしおりや入園案内等の資料を渡して丁寧に説明している。入園時には、絵や写真を用いて内容が分かりやすく記された入園のしおりで丁寧に説明している。園だより、クラスだより、食育だより、保健だより等で詳しくサービスの情報を提供している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>他の保育園へ転園する場合、必要に応じて、児童票、保育記録簿等を転所先の保育園へ送付する等、保育の継続性に配慮した対応を行っている。家庭への移行については子育て相談支援や赤ちゃんステーションの活用等サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>		

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>アセスメントについては、統一様式で定められた手順に従ってアセスメントを行っている。入所時に児童票や健康調査書等で、保護者や子どもの生活状況を正確に把握している。健康診断事前調査票、健康診断表、家庭調査表、児童票に正確に記入していき、変更事項が生じた場合は、チェック表に従い、速やかに訂正している。また、状況の変化に対応し、再アセスメントを実施している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施計画の策定については、アセスメントに基づき、子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保育課程に基づいて、一人ひとりの子どもの発達状況に即した指導計画を作成している。ねらいが達成されるよう環境を構成し、主体的に活動ができるようにしている。</p> <p>連絡帳や個人懇談等で保護者の意向を把握し、個々に見直しをしている。毎日の保育実践の評価、反省を通じて振り返りを行い、保育の改善に活かしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		